

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報として注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項を「危険」「注意」として区分してあります。

	危険 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注意 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、および物的損害だけの発生が想定される場合。

・お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 気をつけていただく内容です。
- してはいけない内容です。
- 実行しなければならない内容です。

なお、**【注意】**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工前の確認事項

	危険
	上位ブレーカなどを切「OFF」状態にして、母線が充電していない状態にしてください。短絡事故、感電のおそれがあります。

※施工前にアルコールを含ませたきれいな布などで母線を清掃し、表面を洗浄してください。

■施工上のご注意

	母線や端子部に触れないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。
	有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
	母線が充電している状態で、プラグインスリムブレーカを母線から引抜いたり差込んだり、ストッパーを解除しないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。
	定格容量30Aタイプの場合、電線は端子ねじに接続となります。推奨締付トルクで確実に締付けてください。発熱、火災の原因となります。 推奨締付トルク 2.0~3.0N・m

	改造等したことにより生じた事故については、一切責任を負いません。
	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。
	ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水等が製品内部に入らないように施工してください。火災、動作しないおそれがあります。
	本体の定格にあった電源を接続してください。不動作および故障の原因となります。
	プラグインスリムブレーカの取付け・取外し作業および配線作業は、プラグインスリムブレーカおよび上位ブレーカを切「OFF」またはトリップ状態にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電、けが、火災のおそれがあります。
	電線の接続は、各極の端子に電線が平行に接続されるように、事前に電線を成形した上で行ってください。また、ブレーカの端子に電線の重量が過度に加わらないように、電線を固定してください。

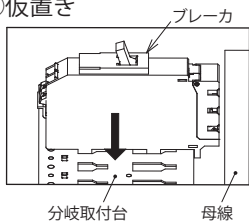
■使用上のご注意

	母線や端子部に触れないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。
	定格を超えての使用はしないでください。絶縁破壊による地絡、短絡事故や遮断不能による爆発等のおそれがあります。
	母線が充電している状態で、プラグインスリムブレーカを母線から引抜いたり差込んだり、ストッパーを解除しないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。

	自動的に遮断した場合は、原因を排除してからハンドルを入「ON」にしてください。感電、火災のおそれがあります。
	保守・点検作業は、専門知識を有する人が行ってください。上位ブレーカを切「OFF」またはトリップ状態にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。

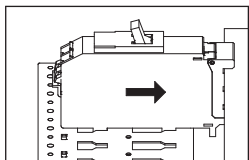
■ブレーカ取付方法

①仮置き



・分岐取付台のブレーカ取付溝に合わせて、ブレーカを仮置きしてください。
 その際、ブレーカのハンドルが切「OFF」状態であり、ブレーカ自体が水平であることを確認してください。

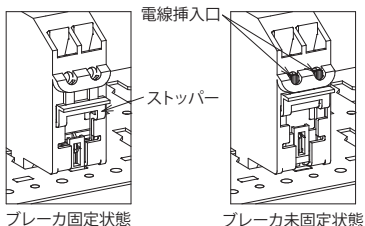
②プラグイン端子の差込み



・水平に押込んで母線へプラグイン端子を確実に奥まで差込んでください。

③ストッパー確認

・ブレーカ後部のストッパーが降り固定状態になっているか確認してください。未固定状態ではストッパーが電線挿入口を塞ぎます。再度プラグイン端子の差込みを確認してください。



⚠️ 注意

ブレーカを母線に差込む際、斜めに差込まないでください。必ず、母線に水平に差込んでください。プラグイン端子部が変形し、発熱・発火の原因となるおそれがあります。

斜めから母線へブレーカを差込まない

分岐取付台のブレーカ取付溝に合わせて、ブレーカを仮置き後、母線へ水平に差込む

■ブレーカ取外方法

・ブレーカのハンドルを切「OFF」にし、ストッパーを上げ、負荷側へ水平に引抜いてください。
 二次側が配線済みの際には電線を取外してからストッパーを上げてください。

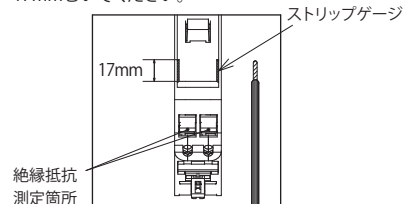
■速結端子への電線接続方法

※定格容量15A、20Aのみ

接続電線 φ1.6、φ2.0単線専用
 (ヨリ線およびφ2.6単線の場合は棒圧着端子を使用)

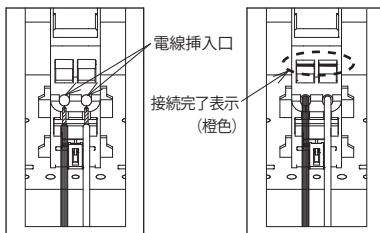
①電線の被覆をむく

・電線の被覆を本体のストリップゲージに合わせて17mmむいてください。



②電線を差込む

・電線を電線挿入口に入れ、橙色の接続完了表示が出るまで確実に差込んでください。
 (電線挿入角度は約15°)



⚠️ 危険

⚠️ 定格容量30Aタイプの場合、電線は端子ねじに接続となります。推奨締付トルクで確実に締付けてください。発熱、火災の原因となります。

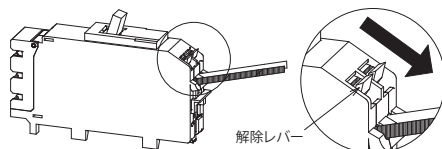
⚠️ 注意

⊘ 1つの電線挿入口に2本以上の電線を差込まないでください。
 電線が変形・腐食している場合は、電線をむき直してから接続してください。火災の原因となります。

⚠️ 電線を差込んでも橙色の接続完了表示が出ない場合は、電線のむき長さを再確認し、接続し直してください。電線の差込みが不十分な場合、火災の原因となります。

■速結端子からの電線引外し方法

・ブレーカのハンドルを切「OFF」にし、解除レバーを矢印の方向に押下げながら電線を後方に引抜いてください。



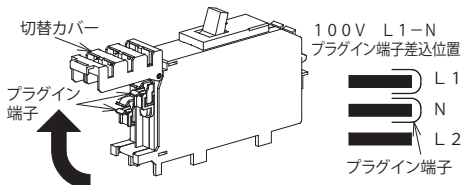
■ 負荷バランスと電圧変更 (2 P 2 E) タイプ

- ・单相 100V 回路では、弊社出荷時は向かって左側が L 1 相と N 相での 100V、右側が L 2 相と N 相での 100V となります。また片側分岐時は交互配置となります。弊社出荷時でバランスをとるために変更していることもありますのでご了承ください。
- ・相切替、電圧変更は、プラグインスリムブレーカのプラグイン端子位置で行います。ブレーカ取外方法によりブレーカを取外し、下記の手順にて変更してください。プラグイン端子位置変更時は、母線との接触面には触れないようにしてください。

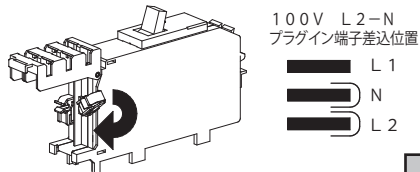
● 单相 3 線式の場合

相切替方法

- ① プレーカ電源側の切替カバーを開けてください。
(最大までカバーを開けると、その位置で固定されます)



- ② プラグイン端子を下図のように回転させて、プラグイン端子の位置を変更してください。



- ③ プラグイン端子位置を確認し、切替カバーを閉じてください。

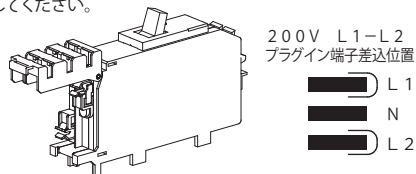
● 三相 3 線式の場合

- ・单相 3 線式の相、電圧切替方法と同様にプラグイン端子を下記位置へ変更してください。



電圧切替方法

- ・左記方法と同様に、プラグイン端子を下記の位置へ変更してください。

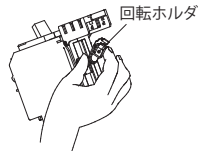


- ・その際、プレーカ上部に 200V 表示 (赤色) が出ていることを確認してください。



⚠ 注意

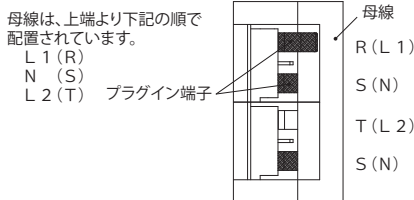
相、電圧切替を行う際、回転ホルダを持って回転させてください。プラグイン端子を持って無理に力を加えると変形し、発熱・発火の原因となる場合があります。



(お願い)
負荷バランスと電圧変更が可能なのは 2 P 2 E タイプのみです。2 P 1 E タイプは負荷バランス変更のみ可能、電圧変更はできませんのでご注意ください。

■ 施工時のプラグイン端子位置確認について

- ・プラグイン端子位置は切替カバー (透明) より下図のように目視確認してください。



- ・プラグイン端子位置目視確認位置
L 1 (R) : プラグイン端子が完全に見える状態
N (S) : プラグイン端子の根本部分のみが見える状態
L 2 (T) : プラグイン端子が見えない状態

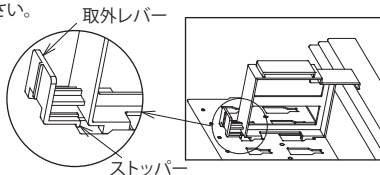
■ブレーカ負荷側の相順



■分岐回路予備スペース

・ブラインドを使用します。取付けは分岐取付台のブレーカ取付溝に合わせて、分岐取付台に押さえ付けながら水平に押し込んでください。ストッパーが取付溝に掛かっていることを確認してください。

・取外す際は取外レバーを後方に引きながら、引抜いてください。



施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は2019年5月現在のものです。

B530154910